

第13回はだのクリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

1 日 時

平成27年5月19日（火） 午前9時30分から午前10時45分まで

2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室
(はだのクリーンセンター3階小会議室)

3 出席者

- (1) 委員（出席10名）
- (2) オブザーバー（出席2名）
- (3) 事務局（3名）

4 内 容

(1) 議 題

ア 平成27年度におけるはだのクリーンセンター環境運営委員会のスケジュールについて

- ・ 環境運営委員会の開催日、焼却炉の稼働日、周辺環境測定及び排ガス測定日の年間スケジュールの説明を行った。

イ はだのクリーンセンターにおける各種実績データについて

- ・ 平成26年度の搬入量、焼却量、焼却灰搬出量、各種測定結果（排ガス測定、放射能濃度、周辺環境測定）の説明を行い、各種排ガス等の測定結果は、全て基準値を下回る数値であったと報告した。
- ・ 伊勢原市からのごみ搬入量が9月に急増しているのは何故かとの問いに対し、9月に伊勢原清掃工場が定期修繕しており一時的に秦野クリーンへの搬入量が増加したためであると説明した。
- ・ 水銀の測定値で、自主規制値が設定され基準値よりかなり下回っているが、法令等基準値はないのかとの問いに対し、排ガスについては法令等基準値はないが、ばいじん等と同様に水銀は人体に影響を及ぼす毒性の強い物質であるため、当時の粉じん作業場の作業環境基準を自主規制値として採用して監視を行っていることを説明した。

- ・ 排ガス中のダイオキシン類の測定を年に2回行っているが、1回目と2回目の数値が1桁違うがその要因は何かとの問いに対し、小数第三位、四位以下で非常に微量な数字であるため測定状況によって微妙に変化したのではないかと説明した（※）。

（※）後日測定業者に確認を取ったところ以下の回答があった。

「要因としては燃焼状況、排ガスの冷却状況、炉内の温度及び湿度、炉内圧等により生じる変動範囲と思われるので問題ない。」

(2) その他

ア 視察の内容と時期についての検討

- ・ 事務局より、他施設への視察にあたり、はだのクリーンセンターの安全かつ安心な管理運営を推進する組織づくりに向けて実施してきたが、はだのクリーンセンターが稼働し一定の成果が出たと思われるので、今後、視察を実施するか、しないかの方向性について検討を行った。委員からは、昨年の視察見学をはじめ様々な施設を見学してきたこともあり、今後どのようにするか検討すべきとの意見があった。

イ はだのクリーンセンターの安定稼働に対する取り組みについて

- ・ 施設を安全稼働させるため、中央制御室や巡視点検での各設備の運転状況、機器状況及び排ガス状況の把握方法や、万が一の異常時には早期対応が出来るよう記録は全て保管している等の報告を行い、この取り組みについてもっとはだのクリーンセンターのことを身近に知って頂くため、周辺の自治会の方々にも声をかけ、施設見学を実施していきたい旨を説明し今後検討する方向となった。

ウ その他

- ・ 近年、地震等大規模災害の発生が予想される。その際はだのクリーンセンターにおける災害対策やごみの受け入れ態勢等の整備を、市の防災計画と連携して調整するよう意見が出された。